一般社団法人 福岡県言語聴覚士会
ニューズレター
NEWS LETTER　第81号 令和2年4月3日発行
事務局：麻生リハビリテーション大学校　灘吉 享子　〒812−0007 福岡市博多区東比恵3−2−1
TEL 080-1776-5108 FAX 092-436-6612　県士会HP：http://st-fukuoka.or.jp

Contents

P1　巻頭言
P2　第8回定期総会（書面決議）についてのお知らせ
　　総会時講演会について
P3　介護予防指導者養成事業（応用編）参加記
　　「令和元年　福岡県三士会合同
　　訪問リハビリテーション実務者研修会」参加記
P4　吃音研修会参加記
　　「小児サポート研修会」開催記
　　「小児サポート研修会」参加記
P5　「シーズ･ニーズマッチング交流会2019」参加報告
　　代議員抱負
P6　事務局よりお願い
　　議事録
P7　県士会関連の研究会
　　福岡県内で開催するＳＴ協会関連の研修会
　　主な学術集会の日程と会場
P8　県内で開催される研究会・勉強会
　　福岡県士会　ブロックの勉強会

巻　頭　言

社会貢献

社会局　吉永　明史

私が社会局に入局してから10年になります。入局してすぐに会創立10周年の祝賀会に出席したことを今でも鮮明に覚えています。あれから10年が経ち、次年度は会創立20周年の節目の年となります。

これまでの10年・・・

社会局の活動目的は「言語聴覚士の社会的地位の確立」でした。そのために言語聴覚士と言語聴覚障害について社会の認知度を高めること、地方自治体や他の職能団体との連携を深めることを念頭に活動してきました。代表的な事業に「言語聴覚の日」イベント、理学療法士会や作業療法協会との合同事業、耳鼻咽喉科会や歯科医師会イベントへの協力、地域ケア会議への参加、災害リハビリテーション活動への参加、ポスターやリーフレット等啓発グッズの制作などがあげられます。全ての活動において非常に多くの会員の方々にご協力をただき、今日まで何とか継続してまいりました。おかげ様で、言語聴覚士の認知度はこの10年でかなり高くなったと感じております。

これからの10年・・・

言語聴覚士の認知度が高くなったことで、社会からの要望が増えてきました。広く一般市民の健康に寄与することが求められています。地域ケア会議への参加、予防事業への参画はその最たるものですが、市町村のイベント等でも言語聴覚士のブースは人気があり、重要な社会貢献の場となっています。これからの10年、言語聴覚士が全ての人々にとって身近な存在となるような取り組みを充実させたいと考えています。言語聴覚士の活躍の場は病院、施設の外にも沢山あります。「社会局の社会は社会貢献の社会らしい。」と言われるよう頑張っていきますので、皆様のご協力をお願いします。

第8回
定期総会（書面決議）についてのお知らせ

第8回定期社員総会を2020年5月17日の開催に向けて準備を進めておりましたが、新型コロナウイルスの感染が拡大している現状を受け、3月7日に臨時の理事会を開催し、第8回定期社員総会を書面決議にて開催させていただくことに決定いたしました。

書面決議に至りました経緯につきましては以下の通りです。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

①新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、感染症のまん延防止や会員の安全を確保する為
②総会予定であった会場が新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から使用できなくなった為

つきましては、後日（4月末）、会員の皆様宛に第8回定期社員総会議案書をお送りさせていただきます。お受け取りいただきましたら、議案の内容を確認の上、全ての議案について議決権行使書に表明いただきますようお願い申し上げます。なお、表明方法等につきましてはQRコードやURLからのメール、FAX等にて実施する予定です。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

総会時講演会について

上記の通り2020年度の定期総会が書面決議となりましたので、例年開催しております「総会時講演会」は延期することになりました。

延期後の日程などは今後検討していきますので、決まり次第ホームページなどでお知らせいたします。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

介護予防指導者養成事業（応用編）参加記

副会長　佐々木　哲

令和元年12月22日(日）に福岡市のアクロス福岡おいて、介護予防指導者養成事業（応用編）が開催されました。本事業は福岡県の地域医療介護総合確保基金の補助を受け、福岡県言語聴覚士会・福岡県理学療法士会・福岡県作業療法協会の三団体が毎年共同開催しています。先に福岡市・北九州市・久留米市の３地区で基礎編が開催され、それを受けての応用編となります。定員は300名でしたが、すぐ満席となる盛況ぶりで三団体会員の介護予防に対する関心の高さが伺えました。

「地域課題をどのように解決し、介護予防を地域づくりにどう活かすか」をメインテーマとして、国からの視点で厚労省の石井義恭氏、病院からの視点で臼杵市医師会立コスモス病院の竹村仁氏、行政からの視点で津山市の安本勝博氏の３者が講演し、その後は演者と受講者による意見交換会が行われました。３者とも立場は異なりますが私たちと同じセラピストであり、受講者にとっても身近に考えやすい内容であったと感じます。地域の実情に即し、あるいは自身の所属（病院や施設、行政など）の機能に即して、介護予防を考え、提供して社会貢献する姿に触れ、改めて私たちも活動しなければと奮い立たされました。

県士会では新たに地域包括ケア推進局が創設され、地域リハビリテーションサポート委員会（ちいサポ）も活動を開始しました。会員の皆様が地域で活躍できるように支援して参りますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

令和２年度の介護予防指導者養成事業は、ST士会が中心となり企画・運営して参ります。有意義な研修会となるよう鋭意企画中ですので、ご期待ください。

「令和元年　福岡県三士会合同 訪問リハビリテーション実務者研修会」参加記

新田原聖母病院　久池井　朋子

令和元年12月14日(土）～12月15日(日）、北九州市戸畑区のウェル戸畑で行われました「令和元年　福岡県三士会合同訪問リハビリテーション実務者研修会」に参加させていただきました。参加者は65人（内訳PT26人、OT27人、ST12人）、研修は５人の講師の方々の講義に加え、各講義の中でグループワークもあり、研修の目的とされていた訪問リハビリテーションに必要な実践能力や連携能力を身に付けることができる内容となっていました。

地域医療構想の背景と今後の動きを踏まえ、増え続ける高齢者、支えを必要とする高齢者の増加をくい止める介護予防を推進していく上で住民主体による自立支援が必要であり、療法士としてどのように役割を果たしていくかを学びました。また、実際の訪問の現場で利用者の急変を目の前にした時の行動をグループワークし、症状や情報、危険な兆候を把握、言語化できることがポイントであると学びました。その他、臨床宗教師から看取りの意義や死生観について考える時間を参加者と共有することもできました。

社会資源としてまだまだ不足していると言われる訪問リハビリテーション分野ですが、利用者の生活基盤から人生に関わる幅広い分野であることをあらためて学び、担い手の一人となれるよう行動していこうと思います。

吃音研修会参加記

福岡市立こども病院　野本　慈

「あの吃音の患者さんにはこういう対応したけど、本当にこれでよかったのかな、もっと他にできることがあったんじゃないかな。」と患者さんを見送った後にいつも反省する吃音臨床。

今回の研修に参加して、坂田先生の臨床場面の動画をたくさん拝見することができ、お子さんや保護者の方への言葉かけの仕方、強化の仕方、使っている道具など具体的に学ぶことができました。お子さんも保護者も生き生きしている様子が印象的で、ネガティブなイメージを持たれることが多い吃音ですが、坂田先生のリハビリだったら楽しい気落ちで病院に通うことができるだろうなと感じました。

また、患者さんに必要な訓練や今後の方針を選択するためには、患者さん自身や取り巻く環境をしっかり理解できるようになる力もつけなければならないと感じました。

今回は幼児吃音のお話がメインでしたが、吃音があるお子さんもいずれ大人になります。小児、成人という枠組みにとらわれることなく、多くのSTが吃音臨床に関わることができるようになったらいいなぁと感じました。

「小児サポート研修会」開催記

福岡市立心身障害がい福祉センター　吉次　春香

令和２年１月２６日（日）福岡市立心身障がい福祉センター７階において、第14回小児サポート研修会を開催いたしました。およそ1年前、次回の研修テーマを検討する中で「放課後等デイサービスで勤務するSTの生の声がききたい！」という声が多くあがり、早速、難聴児を対象とした放課後等デイサービス「ことのは」を立ち上げたばかりの築地宏樹先生に講師をお願いしました。築地先生にはご快諾頂けたのですが、様々な研修会、イベント等との調整が難航し、9月開催の予定がまさかの1月開催と至りました。

当日は、小児療育に携わるSTや教育関係者、計２１名が参加されました。講義では、「専門家が日常に寄り添う～こどもたちを適切な療育環境の中へ～」というテーマで「ことのは」を立ち上げるに至った築地先生の思いや、利用する子どもたちや保護者とのやりとりを通して先生が感じたこと、実際の取り組みなどについて先生の熱い思いをたっぷりきかせていただきました。その後の質疑応答では次々質問が飛び交い、参加者の関心の高さが伺われました。

続いて、難聴をもつ症例への支援の取り組みを、福岡市立こども病院原田先生、北九州市立総合療育センター西部分所松井先生よりご報告いただきました。どちらも難聴児に限らず、小児の臨床に携わるSTであれば誰もが共感するテーマを含んだ貴重な取り組みの報告であり日々の臨床をふり返るよい機会となりました。

次年度以降も皆さんの関心の高いテーマを取り上げ、研修会を開催する予定です。皆さんのご参加をお待ちしています。症例報告を希望する方からのご連絡も、あわせてお待ちしています！

「小児サポート研修会」参加記

福岡市立心身障害がい福祉センター　桑原　ちひろ

今回の研修は、難聴児に関わるSTとして、大変勉強になる内容でした。「ことのは」の築地先生のお話では、難聴児が就学後にどんなことに困るのか、具体的に教えていただきました。就学後は専門機関に関わる頻度が減ることから、聴覚管理が難しくなってくるというのは想像していましたが、保護者からも子どもの状況が見えづらくなるというのは、改めて気付くことのできた点でした。療育という形でSTと関わる機会が減ってしまうことで、子どもの聞こえの状態や言葉の発達を把握する機会も少なくなってしまうことを知りました。そうした状況がある中で、難聴を持つお子さんが就学後の生活を楽しく豊かに過ごしていくために、支援者として何ができるのか考え続けていきたいと感じました。

また症例報告からは、お子さんの状態を適切に評価し、親御さんに伝えていくことの重要性を学びました。親御さんにお子さんの状態について正しく認識してもらうことの難しさは、日々の療育の中で痛感しています。

親御さんへの寄り添い方を考えていくとともに、まずはSTとしてお子さんの状態像を適切に把握することができるよう、評価の目を養っていきたいと感じました。

「シーズ･ニーズマッチング交流会2019」参加報告

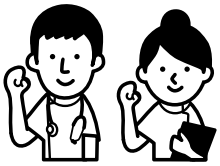
副会長　佐々木　哲

令和２年1月14日（火）～15日（水）に福岡国際会議場において、「シーズ･ニーズマッチング交流会2019」が開催されました。

この交流会は障害者のニーズを踏まえた支援機器の開発を促進するため、大阪、福岡、東京の３か所で、平成26年度から毎年開催され、今年で6回目となります。開発に取り組む企業や研究者と、ニーズを持つ障害者やその支援者などが集まり、体験や交流を行うことで、ニーズを反映した支援機器の開発を促すことなどを目的に開催されています。福岡会場では約30の企業や団体が出展し、各ブースでの機器体験や意見交換が行われたほか、講演や機器等に関する開発・利用報告なども行われていました。

日本言語聴覚士会協会より開発側と使用する方々の情報交換の橋渡しと開発に向けた開発側との情報交換を目的に派遣依頼があり、各日２名ずつ県士会理事が出向しています。期間中は企業や他団体との意見交換の他、失語症来場者への会話サポートを行いました。

平日開催ではありますが、次年度以降も開催されるものと思います。会員の皆様も一度足を運んで、支援機器の開発や啓発に寄与してみてはいかがでしょうか。



代議員抱負

福岡市立こども病院　原田　恭子

この度、令和元年度日本言語聴覚士協会代議員選挙に立候補し、皆様のおかげをもちまして、無事当選となりました。前期の２年間に引き続き、今期も代議員を務めさせていただきます。ご支援を賜りました皆様に心よりお礼申し上げます。

福岡県は都道府県別の協会会員数では978名と、東京に次ぎ全国で２番目の会員数となりました(H31年３月現在)。福岡県言語聴覚士会の会員数も700名近くに達しています。県士会の理事としても、会員の皆様から寄せられる声をしっかりと受け止め、協会との橋渡しとなるよう代議員の役目を務めていきたいと思います。今後ともお力添えをいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

国際医療福祉大学　福岡保健医療学部　大内田　博文

この度、日本言語聴覚士協会の代議員に立候補し、選挙の結果、無事当選となりました。ご支援いただいた皆様に感謝申し上げます。

現在、福岡県言語聴覚士会の理事および、日本言語聴覚士協会生涯学習部の部員として活動しています。県内での研修会の企画・運営や全国研修会の運営に関わらせていただき、会員の方々がスムーズに生涯学習プログラムを受講できるよう努めてまいりました。そのような活動の中で上がってくる会員の皆様の意見や要望を、協会へ届けていきたいと思います。微力ながら言語聴覚障害領域のさらなる発展と普及に関わることができればと思っております。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

事務局よりお願い

①会費の振り込みの際は、必ず**会員番号を記入**して下さい。
尚、会費納入につきましては、なるべく自動引き落としにしていただくようお願い致します。
「自動払込利用申込書」にご記入捺印の上、事務局に提出してください。
※振替受領書や領収書は1年間大切に保管されますようお願い致します。

○**お問い合わせ先（事務局）**
灘吉　享子（麻生リハビリテーション大学校）
（携帯）080-1776-5108（FAX）092-436-6612

②**改姓や住所変更、郵便送付先（勤務先・自宅）変更等があった場合は、速やかに変更届を下記に提出を御願い致します。**
届出用紙は県士会ホームページからもダウンロードできます。

○**会員情報担当：麻生リハビリテーション大学校　福島 志津**
（TEL）092-436-6656　（FAX）092-436-6612
（E-Mail）s-fukush@asojuku.ac.jp

③**会員証をご確認下さい。**

【ゆうちょ銀行からのお振込み】
振 込 先：郵便局
記　　号：１７４１０
番　　号：８１２７１８３１

【ゆうちょ銀行以外からのお振込み】
銀 行 名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：９９００
店　　番：７４８
預金種目：普通
店　　名：七四八（ナナヨンハチ）
普通口座：８１２７１８３
口座名義：シャ）フクオカケンゲンゴチョウカクシカイ

★研修会等の受付の際、会員証の提示がない場合、**非会員料金**になります。
★会員証は、**今年度分まで会費納入済**の方にお配りしています。
★**本年度**の会員証をお持ちでない方はメールかFAXでお問い合わせ下さい。

メール　fukuoka_st_730@yahoo.co.jp
FAX　092-436-6612

会員の皆様へのお知らせ

第8回理事会
2019年12月21日（土）

場所：麻生リハビリテーション大学校
出席：佐藤、佐々木、松尾、福島、井上、山田洋、大内田、横井、山口、吉永、久池井、永松、松井、児玉、冨永、藤川、山田宏、永江、古澤、齋藤、荒木、酒井
欠席：原田、灘吉、難波、椛、大森、
＜報告＞
会員数：679名　（正会員：667名　　賛助会員：12名）
入会：5名（新規3名、再入会2名）　退会：1名　　変更：1名
＜議題＞
①日本口腔衛生学会について（佐々木）
　2020年4月24～26日　国際会議場
　歯科イベントについての報告を各協力団体より30分程度（吉永）
②訪問リハ実務者研修会報告（地域包括ケア推進局）
　12月14～15日　参加者65名
　例年より参加者減…開催時期について再検討
　宿泊費の上限について問い合わせあり→内規は「実費支給」
　申し込み〆切後に資料の印刷ができるスケジュールを検討
③地域医療介護総合確保基金研修進捗状況（地域包括ケア推進局）
　会場検討中（9～12月で検討）
　福岡・北九州・筑後の3会場で基礎講習
　福岡1会場で応用講習
④総会時講演会について（学術局）
　障害者就業生活支援センターのジョブコーチに講師依頼
　テーマ：就労支援について
　日程：6月7日（日）または5月17日（日）
⑤春の講演会について（学術局）
　3月1日（日）開催
　会場変更　麻生リハ→あいあいセンター（会場費無料）
⑥九州地区ST学会進捗状況（学術局）
　HP立ち上げの準備中（長崎大会後に公開予定）
　懇親会会場検討中
⑦20周年記念式典について（社会局）
　9月5日（土）　開催予定
　市民向け公開講座（都久志会館）
　記念式典（ホテルモントレ）　90名程度で検討中
⑧第5回災害対策委員会（社会局）
　今後の課題：情報…事務局強化、緊急連絡網の検討
　人材…災害対策研修会を継続し、登録者を確保する
　　JIMTEF研修会（ベーシック・アドバンス）修了者を増やす
　物資…検討中
　資金…JRAT・福岡県からの出動には支給あり
　　県士会としての役割を検討
⑨ブロック報告会に向けて（職能局）
　言語聴覚の日などについてアンケート集計
　地域ケア会議については、現状報告まで
⑩秋の講演会報告（職能局）
　12月8日（日）　65名参加（県外から4名）
　次年度　筑豊ブロック　久保先生講師で吃音についての予定
⑪会計内規について（事務局）
　内規の文言や内容を変更
　会議費：2時間以上→長時間、1000円→軽食を提供
　懇親会：￥1000円→交通費＋活動費（500円）

第9回理事会
2020年1月11日（土）

場所：麻生リハビリテーション大学校
出席：佐藤、佐々木、原田、灘吉、松尾、福島、難波、井上、山田洋、大内田、横井、山口、椛、吉永、大森、久池井、永松、松井、児玉、冨永、山田宏、永江、古澤、齋藤、酒井
欠席：藤川、荒木、
＜報告＞
会員数：680名　（正会員：668名　　賛助会員：12名）
入会：1名　　退会：0名　　変更：0名
＜議題＞
①シーズニーズマッチングについて（佐藤）
　1月14～15日　国際会議場
　佐藤・原田・佐々木・大森が参加
②総会時講演会進捗状況（学術局）
　6月7日候補だったが、歯科イベントと同日5月17日の予定
　講師…ジョブコーチの方に打診
③九州地区学会進捗状況（学術局）
　HPを長崎大会後に公開する
④20周年記念講演について（社会局）
　候補…木本美紀さん、沼尾ひろ子さん、澤口俊之さん、堀ちえみさんなど　予算などと併せて検討
⑤20周年記念式典について（社会局）
　9月5日（土）予定
　講演会場：都久志会館（仮押さえ）
　式典会場：ホテルモントレラスール（仮押さえ）
　20年史を作成する
⑥財務より
　レシートなどの領収書の裏書について
　予算の費目を裏に書いて提出
　わずかな金額でもきちんと会計を通すように
　今年度分の〆切　3月19日

第10回理事会
2020年2月2日（土）

場所：麻生リハビリテーション大学校
出席：佐藤、佐々木、原田、灘吉、福島、難波、井上、山田洋、大内田、横井、椛、大森、久池井、永松、松井、冨永、藤川、山田宏、永江、古澤、齋藤、荒木、酒井
欠席：松尾、山口、吉永、児玉、
＜報告＞
会員数：680名　（正会員：668名　　賛助会員：12名）
入会：0名　　退会：0名　　変更：0名
＜議題＞
①シーズニーズマッチング報告（佐藤）
　STブース各日7～8名程度の来訪あり
　全体的な来場者が少ない
②九州地区学会代表者会議報告（佐藤）
　佐藤・原田出席
　抄録集の印刷ミスなど多数あり
　収支について…収支報告書の数値に誤りが多い
　　準備委員・協力委員に対しての支出が多すぎるのではないか
③失語症サポート委員会報告（佐々木）
　次年度九州学会での発表について検討
　次年度…6月・7月の第1土日に開催予定
　実習の評価方法について検討中
④介護予防支援センター4地区合同研修会について（佐藤）
　2月29日開催　国際会議場
　2月21日〆切→ブロックメールで回覧
⑤ふくおか健康づくり県民会議総会について（佐藤）
　2月7日　灘吉出席
⑥地域ケア会議専門職向け研修会について（佐藤）
　今後ケア会議に参加予定の人に出てもらいたい
　今後の人選などは地域包括ケア推進局で行っていく
⑦次年度失語症石祖裕支援者指導者研修参加者について（佐藤）
　10月24～25日
　県から2名まで参加可
　失語症サポート委員会より山家ST（筑後ブロック）を推薦
　残り1名も委員会で検討
⑧小児サポート研修会報告（職能局）
　1月26日（あいあいセンター）　参加者21名
　次年度　7月12日で開催予定
⑨吃音研修会報告（職能局）
　2月1日開催
　参加者60名
⑩春の講演会進捗状況（学術局）
　3月1日　あいあいセンター
　9：00　スタッフ集合
　現在申し込み20名弱
　症例発表者募集中
⑪総会時講演会進捗状況（学術局）
　5月17日（日）
　講師…福岡障害者職業センターに打診
　障害者職業カウンセラーを派遣していただく
　仮テーマ「障害者職業カウンセラーに学ぶ支援」
⑫九州学会について（学術局）
　講師謝金や交通費について再検討
　予算案ほぼ確定
　北九州在住の失語症の方にポスターの原画を依頼
⑬会報についてのアンケート結果報告（広報局）
　次年度の会報について、「紙面or HP orどちらでもよい」でアンケート
　50名程度の返答あり
　紙面が良い約20%、HP・どちらでもよい約80%
　Facebook、Twitterを試験的に開始
　HPの更新情報をお知らせしていくツールとしたい
⑭県士会社章作成について（社会局）
　50個￥100,000　　100個￥155,000

県士会関連の研修会

2020 年度　福岡県言語聴覚士会学術局

日　　程	県士会関連の研修会	会　　場
新型コロナウイルスの影響で延期　日程未定	総会時講演会	麻生リハビリテーション大学校
例年 6 月 ~7 月	新人研修会	未定
秋ごろ	秋の講演会（筑豊ブロック担当）	未定
日程未定	地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業	未定
基礎編　（筑後）　9月13日 （福岡）10月　4日 （筑豊）11月　8日 応用編　12月20日	福岡県三士会合同　介護予防指導者養成研修会 （福岡県医療介護総合確保基金研修会）	基礎編　（筑後）久留米大学医療センター （福岡）麻生リハビリテーション大学校 （筑豊）福岡県立大学 応用編　電気ビル
日程未定	福岡県三士会合同　介護予防指導者養成研修会	未定
日程未定	福岡県三士会合同　訪問リハビリテーション実務者研修会	未定
日程未定	失語症者向け意思疎通支援者養成研修会	未定

福岡県内で開催する ST 協会関連の研修会

日　　程	ST 協会関連の研修会	会　　場
9月26日(土)−27日(日) 10月24日(土)−25日(日) 12月　5日(土)−　6日(日) 計6日	認定言語聴覚士講習会（摂食・嚥下障害領域）	国際医療福祉大学　福岡看護学部
11月29日(日)	日本言語聴覚士協会　第 3 回全国研修会（in 福岡）	麻生リハビリテーション大学校

主な学術集会の日程と会場

開催状況は各自でご確認ください。

日　　程	学術集会の名称	会　　場
5月13日(水)～16日(土)	第121回 日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	岡山コンベンションセンター　他
5月20日(水)～23日(土)	第 61 回 日本神経学会学術大会	岡山コンベンションセンター　他
5月30日(土)・31日(日)	第 46 回 日本コミュニケーション障害学会学術講演会	東北大学川内北キャンパス
5月30日(土)・31日(日)	第 16 回 日本訪問リハビリテーション協会学術大会	高知文化プラザかるぽーと･高知市立中央公民館
6月11日(木)～14日(日)	第 57 回 日本リハビリテーション医学会学術集会	国立京都国際会館
6月19日(金)・20日(土)	第 21 回 日本言語聴覚学会	つくば国際会議場
7月　2日(木)・　3日(金)	第 15 回 日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会	三翠園（高知県高知市）
7月18日(土)・19日(日)	第 32 回 日本嚥下障害臨床研究会	広島県医師会館
9月12日(金)・13日(土)	第 26 回 日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 合同開催　第 2 回世界嚥下サミット（WDS 2020）	名古屋国際会議場
10月　1日(木)～　2日(金)	第 44 回 日本神経心理学会学術集会	ホテルハマツ（福島県郡山市）
10月　7日(水)−　9日(金)	第 65 回 日本聴覚医学会総会・学術講演会	ウインクあいち
10月10日(土)・11日(日)	第 65 回 日本音声言語医学会総会・学術講演会	ウインクあいち
10月10日(土)・11日(日)	第 29 回 一般社団法人日本 LD 学会	大阪国際会議場
10月17日(土)	第 16 回 日本神経筋疾患　摂食嚥下栄養研究会学術集会	広島県民文化センター
11月11日(水)～13日(金)	第 31 回 全国介護老人保健施設大会	仙台国際センター
11月21日(土)・22日(日)	第 44 回 日本高次脳機能障害学会学術集会	川崎医療福祉大学
12月26日(土)・27日(日)	第 55 回 日本発達障害学会	つくば国際会議場
2021年 1月23日(土)～24日(日)	第 10 回 日本言語聴覚士協会　九州地区学術集会　福岡大会	北九州国際会議場
2021年 3月　5日(金)・　6日(土)	第 44 回 日本嚥下医学会総会・学術講演会	東京都

県内で開催される研究会・勉強会

2020 年度　県士会 学術局

地域	研究会・勉強会名	開催日時・頻度	内容	お問い合わせ先
北九州地区	北九州認知機能・脳疾患研究会（旧 北九州高次脳機能障害研究会）	日程は HP にて掲載	医師・看護師・PT・OT・ST など高次脳機能障害に興味のある医療職者を対象とした研究発表及び講演会	産業医科大学 リハ医学講座 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 TEL：093-691-7266　FAX：093-691-3529 reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp
	北九州リハビリテーション医会（産業医科大学リハビリテーション医療研究会と統合）	年３回 （日程は HP にて掲載）	リハビリテーション医学および医療の普及、発展、地域の医療・福祉向上に寄与することを目的に開催。対象は、北九州市及び近隣のリハビリテーション医師およびリハビリテーション医療に関与する医師、及び　研修会に参加希望する者（看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、義肢装具士等）。 研修会の構成 １）講座形式：実践で役立つリハビリテーション医学の基本と応用 ２）シンポジウム形式：リハビリテーション医学および医療のトピックス	産業医科大学 リハ医学講座 北九州市八幡西区医生ヶ丘 1-1 TEL：093-691-7266　FAX：093-691-3529 reha@mbox.med.uoeh-u.ac.jp
	※上記研究会や産業医科大学リハビリテーション医学講座の詳細については　http://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/rihabiri/intro_j.html　をご参照下さい。			
	JIST（全体構造法）勉強会	第２木曜　19:00 ～ 偶数月：新水巻病院 奇数月：ウェル戸畑	症例検討・抄読会	リハビリテーションデイサービススタート 言語聴覚士　山崎　一 中間市長津３丁目 4-26 TEL：093-980-1040
福岡地区	コミュニケーションを支援する会	数回 / 年	発達障がい児向けの教材作成・症例検討・勉強会	福岡市立心身障がい福祉センター 冨永　法子 福岡市中央区長浜 1-2-8 aiai-arinko@fc-jigyoudan.org
	福岡 PEG・半固形化栄養法研究会	７月予定	栄養療法（PEG 等）に関してより一層の医療向上と、知識や技術の交流と周辺地域の医療に貢献することも目的とする。	福岡国際医療福祉大学 言語聴覚専攻科　吉永　明史 福岡市早良区百道浜 3-6-40 TEL：092-832-1200　FAX：092-832-1190
	福岡摂食嚥下サポート研究会	年に数回	症例検討や講演会等を予定。今後の詳細は研究会のホームページをご覧下さい。	福岡摂食嚥下サポート研究会　事務局　担当：後藤 （社会医療法人原土井病院　患者支援センター内）
	福岡県病院協会　リハビリテーション研修会	年２回	講演会・シンポジウム	事務局）博多区博多駅南２丁目 9-30 福岡県メディカルセンタービル２階 公益社団法人 福岡県病院協会 TEL：092-436-2312 e メール：fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp
	RASS 九州地域勉強会	年３回	RASS（間接法による吃音訓練法）の講習会修了者フォローのための勉強会です。症例相談・検討を軸に据え、年に一度は都筑澄夫先生をお招きします。	久保　健彦 QGB01323@nifty.com
	言語発達サポート勉強会	年４回程度。日時未定	主に学童期の言語発達の理解と支援に関する自主勉強会	ＮＰＯ法人ことり npokotori@yahoo.co.jp
	九大言総研社会連携特別セミナー	言語聴覚士向けの研修会は年１回　２月～３月に実施	ST の職務に関連する学際的な研究成果についてセミナーや講演会を実施する。	九州大学言語運用総合研究センター http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~cslp/index.html
	SMILE ネットワーク研修会	年２回	地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携を目的とした症例検討・勉強会	九州中央病院 地域医療連携係 担当者：島田、須川 TEL：092-541-4936 メール：t-sugawa@kyushu-ctr-hsp.com
	SMILE ネットワーク研修会分科会（摂食嚥下評価、訓練・食形態、栄養情報・薬剤）	年に２～３回	地域包括ケアシステムの構築に向けた多職種連携を目的とした症例検討・勉強会	九州中央病院 地域医療連携係 担当者：島田、須川 TEL：092-541-4936 メール：t-sugawa@kyushu-ctr-hsp.com
筑後地区	構音研究会	偶数月の第一土曜日　15 時から開催日時は変更する場合もありますので、詳しくはお問い合わせください。	小児から成人まで、構音に関する全てを研究する会。 お困りのケースの①構音、②身体状況（姿勢やバランスなど）、③構音時の発声発語器官の動きなどが分かる録音、録画データをご持参下さい。	聖マリア病院 リハビリテーション室 言語 久留米市津福本町 422　（内線 2317） TEL：0942-35-3322　FAX：0942-34-0097

福岡県士会　ブロックの勉強会

ブロック	勉強会の名称	開催場所	概略　①内容　②開催頻度　③申込み方法 ④生涯学習基礎プログラムの「症例検討」の該当　⑤その他	勉強会担当者・連絡先
北九州	北九州ブロック勉強会	戸畑リハビリテーション病院他	①勉強会や症例検討 ②年２回開催 ③メール：stfukuoka3@gmail.com ④基礎プログラム「症例検討」が行える。	東筑病院 畑　聡一郎 reha-hata@touchiku-hospital.or.jp
中　央	中央ブロック勉強会	あいあいセンター他	①勉強会、症例検討、懇親会 症例検討を年に３回、勉強会を年１回開催 ②６月、９月、12 月頃 ③メール：stfukuoka5@gmail.com ④基礎プログラムの「症例検討」が行なえる ⑤会員以外の方の参加は参加費 500 円を頂いております	寺沢病院 リハビリテーション部 内丸　加絵 st1-reha@terasawa-h.jp
東	東ブロック勉強会（成人部門）	福岡東地区ブロック内の病院（当番制）	①症例検討と勉強会（テーマを決めたディスカッションもあり） ②隔月 ③メール：stfukuoka4@gmail.com ④基礎プログラム「症例検討」が行える。 ⑤参加条件は特になし	和白病院 リハビリテーション科 平山　滋 stfukuoka4@gmail.com
	東ブロック勉強会（小児部門）	福岡東地区ブロック内の施設（当番制）	①症例検討と勉強会 ②年３回（外部講師による研修の場合もあり） ③メール ④基礎プログラム「症例検討」が行える。 ⑤参加条件特になし	
西	西ブロック勉強会	早良病院 他	①症例検討と勉強会 ②年２回 ③メール：rihabili_fuku02@fukuseikai-hp.or.jp FAX：092-804-8836 ④基礎プログラム「症例検討」が行える。	訪問看護ステーション誠愛 片田　大河 stfukuoka5@gmail.com
筑　豊	筑豊ブロック勉強会	医療法人社 博愛会 頴田病院	①症例検討もしくは勉強会（外部講師依頼） ②奇数月（７月～）　第３水曜日　１９時 ただし、都合により、変更となる場合があります。 ③ FAX：09496-2-1390(頴田病院　リハビリテーション科) ④基礎プログラム「症例検討」が行える。 ⑤事前連絡いただければ、ブロック以外会員可能。	頴田病院 リハビリテーション科 ST 林田　なおみ TEL：09496-2-2132 FAX：09496-2-1390
筑　後	筑後ブロック勉強会	学校法人 高木学園 柳川リハビリテーション学院他	①勉強会や症例検討 ②ａ．講演会・症例検討　年１回 ｂ．小児勉強会　年２～３回 ｃ．成人症例検討（久留米）　年３回 ③ａ，ｂ．メール：stfukuoka1@gmail.com ｃ．メール：fukuyama_hiroyuki@kurume-u.ac.jp ④基礎プログラム「症例検討」が行える ⑤参加条件は特になし。	柳川リハビリテーション学院　言語聴覚学科 深水　峰子 stfukuoka1@gmail.com ＊成人症例検討（久留米）の担当 久留米大学病院 リハビリテーション部 福山　寛之 fukuyama_hiroyuki@kurume-u.ac.jp